



塩と暮らしを結ぶ運動（暮らしお）では、2025年7月24日（木）、東京都千代田区の都市センターホテルにて開催された、公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団（暮らしお賛助会員）主催の「第37回助成研究発表会」において、熱中症対策を実施しました。

「理工学」「食品科学」「医学」と3つの分野別に会場が設けられ、朝から夕方まで、合計62件の発表があり、参加された皆さまは熱心に聞いておられ、発表後も活発な質疑応答も行われておりました。

発表会の受付および会場内の休憩室に、塩と暮らしを結ぶ運動の熱中症対策啓発ポスターを掲示して熱中症への注意を呼びかけ、あわせて運動のウチワ及び塩タブレットを設置して来場者に自由にお持ちいただき、熱中症対策に役立てていただきました。

東京のこの日の最高気温は34.8度と猛暑日に迫る陽気。会場内は空調が効いて涼しく聞くことができましたが、最寄駅からの道はうだるような暑さで、ウチワや塩タブレットは大変好評をいただきました。

当日は研究者の方を中心に約140名の参加がありました。普段、塩に関連する様々な研究を行っている皆さまにも、熱中症対策などの塩と暮らしの関わりを改めてご認識いただけたものと思います。





塩と暮らしを結ぶ運動（暮らしお）では、2024年度も、公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団（暮らしお賛助会員）の「助成研究発表会」で熱中症対策を行いました。

新型コロナ禍以降、昨年度に引き続き2回目の会場開催となる今回は、7月30日（火）、都市センターホテル（東京都千代田区）にて、「第36回助成研究発表会」として開催されました。

当日は、「理工学」「食品科学」「医学」の分野別に3会場に分かれて、朝から夕方まで、合計62件の発表があり、参加の皆さんは熱心に聞いておられました。そして各発表の後は、活発な質疑応答も行われました。

発表会の受付及び会場内の休憩室に、塩と暮らしを結ぶ運動の熱中症対策啓発ポスターを掲示して熱中症への注意を呼びかけるとともに、運動のウチワ及び塩タブレットを設置して来場者に自由にお持ちいただき、熱中症対策に役立てていただきました。

例年以上の猛暑となった今夏、会場内は空調が効いていますが、外の気温や湿度はとても高かったので、ウチワや塩タブレットは大変好評でした。

当日は研究者の方を中心に約170名の参加がありました。普段、塩に関連する科学的な研究を行っている皆様にも、熱中症対策などの塩と暮らしの関わりを改めて思い起こしていただけたことと思います。





塩と暮らしを結ぶ運動では、2023年7月25日（火）、東京都千代田区の都市センターホテルにて開催された、公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団（塩と暮らしを結ぶ運動協議会賛助会員）主催の「第35回助成研究発表会」において、熱中症対策を行いました。

今回で35回目となる助成研究発表会ですが、過去3回は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止またはオンライン開催を余儀なくされており、会場における開催は4年ぶりとなりました。

当日は、「理工学」「食品科学」「医学」の分野別に3会場に分かれて、朝から夕方まで、合計59件の発表が行われ、それぞれ、活発な質疑応答がなされました。

会場では、受付及び休憩室に塩と暮らしを結ぶ運動の熱中症対策啓発ポスターを掲示して熱中症への注意を呼びかけるとともに、運動のウチワ及び塩飴を設置して来場者に自由にお持ちいただき、熱中症対策に役立てていただきました。

会場内は空調が効いていたものの、当日の気温は大変高かったこともあり、ウチワや塩飴は大変好評をいただきました。

当日は研究者の方など約180名の参加がありました。塩について科学的な研究を行っている皆様にも、熱中症対策をはじめとする塩と暮らしの関わりについて、改めて思いを寄せていただけたのではと思います。





塩と暮らしを結ぶ運動では、令和元年7月25日（木）、東京都千代田区の都市センターホテルにて開催された、公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団（塩と暮らしを結ぶ運動協議会賛助会員）主催の「第31回平成30年度助成研究発表会」において、昨年度に引き続き、周知活動を行いました。



31回目の開催となる今回の助成研究発表会では、朝から夕方まで、3つの会場に分かれて合計で60件の研究発表が行われました。

参加者の皆様には、受付で発表会プログラムと同時に、「塩と暮らしのあれこれBOOK」をお配りしました。また受付には塩と暮らしを結ぶ運動の塩飴を用意し、ご自由にお持ちいただきました。昼の休憩時間には、各会場で一時間余りにわたって塩と暮らしを結ぶ運動のPRスライドを上映しました。



会場内は空調が効いていましたが、当日の屋外は気温や湿度が高かったこともあり、熱中症予防に役立つ塩飴は、大変好評をいただきました。



当日は研究者をはじめ約180名の参加がありました。塩について科学的な研究を行っている皆様にも、あらためて、熱中症対策をはじめとする塩と暮らしの関わりや本運動について知っていただけたのではと思います。





塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、平成30年7月18日(水)、東京都千代田区の都市センターホテルにて開催された、公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団(協議会賛助会員)主催の「第30回平成29年度助成研究発表会」で周知活動を行いました。

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団では昭和63年の設立以来、製塩技術、塩の生理作用、調理における塩の味・用法などの研究に対する助成を行うとともに、助成研究発表会を平成元年より毎年開催しています。

30回目の開催となる今回も、朝9時半から夕方17時まで、3つの会場に分かれ59件の研究発表が行われました。

参加者の皆様には、受付で発表会プログラムと同時に、「塩と暮らしのあれこれBOOK」をお配りしました。また「暮らしおクイズキャンペーン2018」のチラシもお渡ししました。また、昼の休憩時間には、各会場で一時間余りにわたって塩と暮らしを結ぶ運動のPRスライドを上映しました。

当日は研究者をはじめ約200名の参加がありました。塩について科学的な研究を行っている皆様にも、あらためて塩と暮らしの関わりや本運動について知っていただく機会になったのではないかと思います。

